

新宮山彦ぐるーぷ第1931回

楊子ノ宿先の奥駈道歩行危険箇所(トラバース道)の整備(迂回路)

◇実施日：平成29年05月20日(土) ～21日(日)
◇参加者：青木宏充 1名。

先般、十津川村教育委員会(杉本氏)から事務局・沖崎氏に「奈良県の担当者から楊子ノ宿付近に歩行に危険を感じる箇所があるので処置すべきとの連絡があり、教育委員会としては判らないので、その箇所が何処かどんな状況なのか」問い合わせがあった。出来れば対処して欲しいような口ぶりであったことが、当ぐるーぷ関係者に連絡された。

この度、危険箇所は、楊子ノ宿小屋先(小屋から北に30mぐらいの所)の崩落箇所の調査及び一人で迂回路ができるようだったら奥駈道の付け変えのために行ってきた。

崩落は、あまり進んでいないようだが 途中の2mがかなり危ない。足の置場が20cmぐらいで、しかも僅かだが谷側に傾斜している。軽荷なら行けるが、重いザックではかなり怖い。ましてや、雨風が強いと怖さも倍増であろうかと(危険度も倍増)思われる。

高捲きが可能かどうか上に行ってみる。僅かではあるが踏み跡がある。崩落箇所の10mぐらい上に、迂回路ができそうだ。

ノコギリとミニツルハシで整備。北側からの上りは緩斜面だが、目印にもなるので虎ロープを設置。

足元も黒土なので多くの人が通過すれば、足場もしつかり階段状になりそうだ。

途中に黄色のテープリングもして、崩落箇所の手前の縦走路の北と南の2か所に標識を設置(この先 崩落)という言葉にした、あえて通行止めにはしなかった。

高捲く迂回路は、時間的には5分ぐらい余計にかかるが 安全

に歩けます。

(記 青木)



以上迂回路と標示

動画

 崩落1.mp4

 迂回路1.mp4

